

# Principal Correspondence

## サンタクロースが訪れる小学校

リリーベール小学校の先生方は本気でサンタクロースの存在を信じています。

児童の皆さんも信じていますよね???だって、創立以来20年間12月になると毎年やってくるのですから。

今年も公式声明を下記の通り発表します。

### リリーベール公式声明

サンタクロースは本当にいます。

サンタクロースが人々の善意の象徴とするならばみんなの心のなかに確かにいます。

今年も1年間、

元気に大きくなったあなたには特別にクリスマスアッセンブリーの日に会いに来るでしょう。

今年1年の成長と、あなたを見守り、慈しんでくれた人々に感謝し、来年はもっと優しく強い子になりますように…。

2023年12月  
リリーベール小学校

クリスマスは、例えキリスト教徒でなくても、大人にも、子どもにとっても一年のおわりの最も楽しい行事です。夕暮れの雑踏、街の飾り、光り輝くイルミネーション。歳末助け合いの声、子どもたちはサンタクロースのプレゼントに心躍らせ、大人はあたりまえの幸せに感謝し、一年間の無事と成長を祝うとき…。

一年のおわりにリリーベールでは「クリスマスアッセンブリー」で皆様に至極の時間を提供します。

# Principal Correspondence

## 学童保育の本来の意義について

学童の意義は何処にあるのでしょうか？

子どもにとって仕事は学校に行くことです。学校は子どもたちにとってオフィシャルの場で基本的に学習をする場所ですから、ストレスもたまるし人間関係にも悩めます。

学校と、家庭の間にあるのが学童で、指導員はメンターであり、チューターであり、学校の先生と役割はまったく異なります。子どもの心に寄り添い、宿題をやりつつ、悩みを聞き、ともに喜び、考え、さらに遊びを提案する役割です。

子どもにとって「遊び」は勉強と同じく大切で、特に学童期に一日一回は群れて遊ぶことが、私は大事だと思います。遊びの効用として、「身体的技能が獲得される(つまり運動神経が伸びる)」とか「言葉や想像力が発達する」とか「社会性が育つ(コミュニケーション能力)」などよく言われます。



しかし、遊びの一番の意義は、何より子ども時代が「我を忘れて楽しいこと、面白いことに熱中する経験」に満ちていることそのものにあるということです。

「腹を抱えて笑う」、「(テレビではなく)ゲームで全神経を集中して真剣になる」、「達成感」あるいは「くやしさ」「悲しさ」「後悔の涙にくれること」あるいはキャンプや野外活動で「自然の美しさや不思議さに心打たれること」・・・

遊びの良さは「自分は愛されているだろうか?」とか「自分はどう思われているだろうか?」とかそんなことを気にせずにごくごくすること。それが心の何か大事なことを耕してくれるのです。学童はそういう場所です(まだまだ理想的にそうになっていませんが)。それを目指しています。前月にも書きましたが、百ます計算でおなじみの陰山先生は「勉強の時間の長さで学力は伸びない。」「集中力こそ学力のすべて。勉強の目的は集中力を育むこと。」とまで言っています。

「遊び」から得られる大事なことは「人間としての深み」の他に、そこで育まれる「集中力」にもあるのかも知れません。